



第39号

○発行年月日
平成29年7月1日
○発 行
社会福祉法人
安房広域福祉会
〒294-0231
千葉県館山市中里288-1
TEL 0470-28-2422
FAX 0470-28-2424
<http://www.nakazato.or.jp/>



ボランティア募集中

お問い合わせ先・連絡先

■中里の家

館山市中里 288-1
TEL 0470 (28) 2022
FAX 0470 (28) 2023
nakazato-ie@minos.ocn.ne.jp

■中里ワークホーム

館山市中里 291
TEL 0470 (28) 2422
FAX 0470 (28) 2424
nakazato-workhome@m2.dion.ne.jp

夏まつり

平成29年8月9日(水)

17時30分～20時30分

※雨天延期 8月11日(金)

●催事内容

・学生フラメンコ

・エイサー踊り

・大抽選会

・打ち上げ花火

●夜店

・焼きそば、かき氷など

盛りだくさん!



「時の流れを感じて」

中里の家三十年記念祝賀会



▲理事長挨拶

光陰矢のごとしと申しますが、今回の「中里の家30年記念祝賀会」を実施するにあたり時代の日まぐるしい変化に大変驚きを感じ、当時中里の家の開所に至るまでに多くの方々の苦労と尽力があつた事を改めて実感すると共に、30年を迎える事の出来る喜びが込み上げてきました。昭和62年(1987年)4月

中里の家 次長 鎌田 浩幸

祝中里の家三十年記念祝賀



▲勤続30周年 おめでとうございます。

中里の家が開所されました。昭和62年とはどんな年であったか?日本国有鉄道が民営化されJRグループ7社が発足し、芸能界では昭和の銀幕の大スター石原裕次郎さんが死去、身近なところでは、通勤通学前にシャンプーをする「朝シャン」という言葉が流行語になつた年です。ちなみに私は中学生で朝の通学前に坊主頭にシャンプーをしていた事を記

憶しています。この30年間、福祉の世界はもろんのこと、法人も大きく変化しました。中里の家の開所当時は50名の利用者様と21名の職員でスタートしましたが、現在では80名の利用者様と72名の職員となり、法人全体では5事業所および4棟のグループホームを設置運営し利用者様総数250名、職員総数130名の、実に当時の5倍の大所帯となりました。福祉の制度も大きく変わり、現在の総合支援法と時代の変化に応じ多



▲豪華な食事の前でピース

様に改正され、今後も時代の変化とともに大きく変わることが予想されます。このような時代の変化や社会のニーズを的確に受け止め、襟元を正し一步ずつ確実に前進する事が、福祉の世界に籍を置く者の責務と考えると共に、ご尽力いただいた多くの関係機関に感謝を忘れることはなく、今後も40年、50年と時を刻めるよう前進して行きたいと思います。30年色々とありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。



▲1円玉の旅がらす

桜の里

スナップエンドウとシコレッダー

支援員 相馬 紫保



桜の里の朝は、送迎車から降りてこちらの方々を迎えることから始まります。その中で一日散にシコレッダーに向かう方がいます。シコレッダーを手に取り席につくと、すごい集中力で用紙を処理していきます。見て下もついの満面の笑顔！後ろ姿は職人です！ひと仕事を終えると、次はテラスにあるグリーンカーテンへ向かわれます。毎年桜の里のグリーンカーテンはスナップエンドウです。たわわに実ったスナップエンドウを一つ手に取ると「ほら、今日も大きくなつたよ♪」職員に収穫のお知らせをしていただきます。この到着からの一連の「職人仕事」が始まると、桜の里の職員は一様に「この時期がきたなあ」とプールの準備や着替えの準備などに思いを巡らすなんひとつマニアでした。

職員たってお仕事の時は楽しまないと！が私の考え方なので、皆に負けないように遊んでみました。悔しいのは準備を忘れて田んぼに入れなかつたこと。軽快に田植え機に乗つて、芸術的な一直線の苗列を作つてみたかったのに…農ガールになれなかつたのが本当に残念。中里ワークホームの次回の余暇はどんな物が待っているのでしょうか。またやりたいと思つてもうれる遊びを教えて全員一緒に楽しめるよう行つていきたいと思います。

中里ワークホーム

余暇つたよ!!

支援員 豊崎 千恵



▲よいしょっと

今年も恒例の余暇の日がやつてきました。5月3、4、5日と趣向を凝らした3日間を過ごしました。桜の里に行ってジリジリする日差しの下で「田植え体験」と称してグッチャグチャの田んぼにはまつてみたり、これまたジリジリする鉄板の上で焼きそばを作つてみたり。味のほうは…とつても健康的な薄味に美味しい仕上がりました…。ある日にはグランドゴルフで真剣勝負、ある日にはちよつと一息入れて、お茶をしながらの座談会(自治会)もあつたりと、いつもと同じようで全く違つ3日間を過ごしました。

職員たってお仕事の時は楽しまないと！が私の考え方なので、皆に負けないように遊んでみました。悔しいのは準備を忘れて田んぼに入れなかつたこと。軽快に田植え機に乗つて、芸術的な一直線の苗列を作つてみたかったのに…農ガールになれなかつたのが本当に残念。中里ワークホームの次回の余暇はどんな物が待っているのでしょうか。またやりたいと思つてもうれる遊びを教えて全員一緒に楽しめるよう行つていきたいと思います。

中里の家

軽スポーツ班

支援員 大竹 莉沙



▲ピース

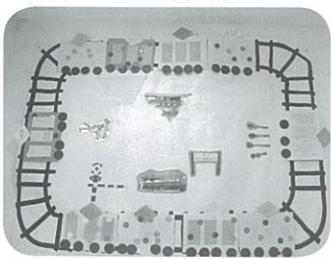


◀ごみひろい!!

こすもす

つくしんばクラス保育参観

支援員 小宮 瑞美



5月26日、今年度初めてのつくしんばクラスの行事の日でした。計画では「電車に乗ってみよう」でしたが、残念ながら雨。保育参観「お母さんたちと楽しく過ごす」の日となりました。本降りの雨の中始まつた保育参観。お母さんと一緒にみんな笑顔いっぱいです。体操やふれあい遊びで、もっと笑顔いっぱい。メイン活動は「電車をつくります。シールやクレヨンでデコレーションしませんか?」ここでお母さんの腕の見せ所です。窓から可愛らしいお友達が覗いている電車を作ってくれました。子供たちも几帳面にシールを貼り、のりを塗るのが楽しくなつちやつた姿や、制作頑張つて夢の中の姿など、色々な姿を見せてくれました。素敵な電車を路面に走らせて記念撮影!来年は電車に乗れるといなあ。お母さんたちの関わりの中で、今後の支援の参考にしたい素敵な場面がたくさんありました。ご参加いただきましてありがとうございました。今後もよろしくお願いします。

中里ワークホーム農産加工班では毎年きやらぶきの製造を行っています。

ちょうど田植えが終わるゴールデンウィーク明けに一日をかけて踏(ふき)を収穫します。今回の収穫場所は千倉にある「金仙寺」。お寺の境内や山一面に広がつた踏を利用者さんと共に一本一本丁寧に鎌で刈り、葉を取っていきます。

今年は晴天にも恵まれ、皆さんたくさん汗をかきながら一生懸命の作業でした。この日の収穫量はトライク一台分になりました。

ちなみに、この金仙寺さんはワークホーム利用者の岡田様のご両親のご好意により、毎年収穫にお邪魔させていただいている場所ですが、お手伝いを頼いたり、別の場所で収穫した踏を持つてきて下さつたりと、本当にお世話になつています。地域の皆さんに支えられて作業が成り立つているのだと毎年改めて感じさせていただいている場所です。心をこめて作つています。1パック300円です。



▲ふきの葉っぱ取り作業

皆様に支えられて

支援員 大出 貴博

中里ワークホーム

ふれあいショップ
平砂浦の畑

支援員 相川 宏

ふれあいショップ
平砂浦

増えを目論んでいるだけに、自然と祈る手にも力が入ります。

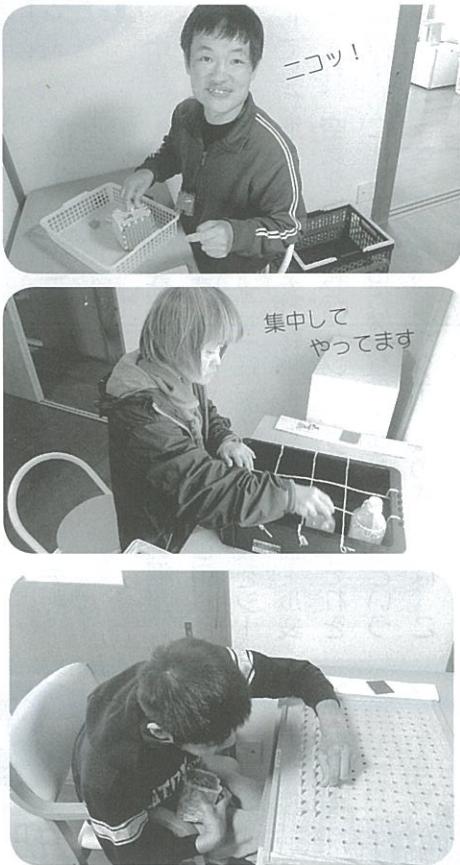
中里の家・中里ワークホーム合同でのサツマイモ苗の定植が行われました。どれだけのサツマイモ苗が「根切り虫」の攻撃に耐えてくれるか戦々恐々と見守る日々です。美味しいサツマイモが採れたら、ふれあいショップに焼き芋機を出動させて売上倍

真夏日になろうかという気温の中、ふれあいショップ平砂浦の下の畠では、黒々としたマルチが綺麗に敷かれ、

中里の家

こんにちは、個別支援班です

支援員 染谷 里美



自然に囲まれた一軒家『山荻の家』での活動が始まり半年がたちました。様々な課題を通して、今まで見られなかつた利用者さん達の新たな一面など多くの発見がありました。得意な事や苦手な事、好きな事や嫌いな事、興味や関心などを知り、言葉だけではないコミュニケーションで伝え合い、伝わった時の喜びを、お互にいつもともっと沢山感じて行けたらなと思ひます。これからこの山間の「やもおぎ」の地は青々とした緑で

いっぱいになります。水田からは蛙の鳴き声が聞こえ、夜には螢が出るとも聞きます。お天気の良い日はのんびりと周辺散策も良いですね。四季のうつろいを感じながら、初めての夏を迎えるます。



中里の家のリハビリ班は、身体機能に低下が見られ始めた方を中心とし、個別メニューを組んで月・水・金曜日の週3日活動しています。例えば、自力での歩行だとバランスを崩しやすい方に対しては、歩行器を用いての室内歩行練習の後に、少し遠出をして三芳の道の駅での足湯に浸かりに行ったり、桜の里の周辺や城山公園などのような景色がきれいな環境で、日々練習した成果を試してみたりと、安全面に十分配慮しながらも、楽しんで活動ができる事を第一に考えた活動であるように取り組んでいます。なかなか筋力のパワーアップは難しいのですが、心のパワーはどんどんアップして欲しいと考えています。



中里の家

パワーアップを目標に

支援員 熊澤 未来

中里の家

こんにちは、個別支援班です

支援員 染谷 里美

**中里
ワークホーム**

匠のわざ

支援員 相川 宏



中里ワークホーム依託班には、頻繁にペンの梱包の依頼が舞い込んできます。どのくらいの量かと申しますと、一万本を3日で一本ずつ袋詰めし、その袋をシールでしわ無く包装し、それを10本セットでビニール袋に入れ、空気を抜いてセロハンテープで止め、それを段ボールに1本の過不足なく整然と並べていくという量になります。しかし、ワークホームの依託班は、この作業が一番得意でありますので「このペンの梱包なら中里さんに」とお願いされ、かなりの頻度で製作する事になっています。

得意な事は嫌にならないもので、皆さんじょんじょん腕を上げ、寸分の狂い無くシールを貼つて行く姿はまるで「匠」です。そのような匠が依託班にひとりまたひひとり現れ始めており、担当の負担も気に火をつけてくれています。早めでは誰にも負はられません。

厨房

初心に帰つて

調理員 安西 信介



中でも、毎月実施している誕生会は、私達調理員にとって、利用者さんとお話を聞く機会なので毎回楽しみにしてます。メニューも普段食べないような内容なので、食事風景を見ていると楽しそうな顔をされているので、心が和みます。また、調理実習では利用者さんと一緒に食事を作りますが、野菜を切つてもひつたり、塩むみをしてやりたつて、ハラハラ、ドキドキある時もありますが、皆で料理を作り上げるのは達成感も共有できる良い場だなと思います。これからも、一緒に活動する事を私達調理員は楽しみにしていますので、よろしくお願いします。



こすもす

**くみくみ
スロープに夢中**

支援員 小宮 瑞美



▲完成したよ！

ただいま。15時になると、学校に通うお子さんがバスで到着します。おやつを食べると好きな遊びを始めるのですが、大人気なのが「くみくみスロープ」です。遊び方はどうぞ、カラフルで様々な形をしたパーツを、ブロックのよう組み立ててコースを作り、小さな玉を流します。くねくね曲がるものやお皿の上をぐるぐる回るもの、羽根が回るものなどいろいろ組み合わせることによりボールの転がり方が変化するので、見ていて楽しい玩具です。今日も夢中になっているお子さんが、たりせり見えているようです。

桜の里

笑顔の家族交流会！

支援員 木曾 直穂子



▲玉入れダンクー!!



▲皆一緒に♪

晴れ渡る快晴！皆の笑顔もピカピカの5月30日！桜の里として5回目の「家族交流会」が行われました。

なかなか会つ事が難しい家族の皆さんとの意見交換の場を提供する事と、普段の桜の里での活動の一場面を見て頂く事。そして、皆と一緒に楽しい時間を過ごすこととの目標は、笑顔でクリアな1日でした。

午前中は壇や畠道に分かれての散歩。そしてワークホームの美味しい焼きそばが、お母様方の見事な手際での素早い配膳で、皆のお腹の中にスピーディにあさまり。スペシャルなおからマフィンのデザートに舌つづみを打った昼食後に、まことに待つたゲーム大会！今年は白熱した玉入れで順位を競い、豪華（？）賞品をゲットして会を終えました。

ご利用者・ご家族・職員とも、皆の笑顔が最高に輝いた楽しい1日でした。

中里の家

第8回中里の家
レクリエーション大会！

支援員 堀江 拓也



▲赤組優勝！！

5月25日、第8回中里の家レクリエーション大会が開催されました。この日の為にコンディションを整えましたが、当日の朝、ちらほらと小雨が…みんな雨など関係なしにやる気満々！準備を行っているうちに晴れますが…晴れ男？晴れ女？はだれだったのでしょうか。

競技では、笑顔があふれ楽しそうな様子が伺えました。職員レクでは、今流行りの芸人（ニセモノ）が登場！

一日大きな怪我・事故等なく行つ事ができて大変良かつたと思います。また来年元気で競技ができる事を願っています！



▲ワークス農業事業

ワークス
館山農産事業を
スタートしました

支援員 江部 徹

ワークス館山は4月から農産作業を新事業としてスタートさせました。作業内容としましては、館山市山本にお借りしたハウスでレモンやブルーベリーなどの果物栽培を軸として、花や野菜の苗栽培なども行つて行きたいと考えています。現在はハウス内の片付けに追われる毎日ですが、少しずつ形になってきたことで皆様に達成感を味わっていただくことができるようになりました。

ワークス館山にとつては施設外での作業は初めての取り組みとなります。が、一人ひとりに活躍の場をご提供できるようにスタッフ一同これからも一杯努めて参りたいと考えております。

新職員紹介



中里の家
支援員 渡邊 亜矢子
(わたなべ あやこ)
趣味..旅行
座右の銘..大器晩成



中里の家
支援員 増田 明美
(ますだ あけみ)
趣味..園芸
座右の銘..一生懸命



中里の家
支援員 檜山 薫
(ひやま かおる)
趣味..古いレコード・映画
座右の銘..石の上にも三
年、自他相愛



中里の家
支援員 龜田 早紀子
(かめだ さきこ)
趣味..犬の散歩
座右の銘..なせば成る
なさねば成らぬ何事も



中里の家
支援員 渡邊 亜矢子
(わたなべ あやこ)
趣味..旅行
座右の銘..大器晩成



中里の家
支援員 増田 明美
(ますだ あけみ)
趣味..園芸
座右の銘..一生懸命



中里の家
支援員 檜山 薫
(ひやま かおる)
趣味..古いレコード・映画
座右の銘..石の上にも三
年、自他相愛



中里の家
調理員 三村 美保
(みむら みほ)
趣味..食べる事!
座右の銘..明るく、楽し
く、元気よく!!



▲実習後の挨拶

作業実習

6月上旬に安房特別支援学校高等部一年生による作業実習がありました。皆さんきちんと挨拶もできていて、真剣に取り組まれていました。その一週間後、実習生を代表して2名の生徒さんが挨拶に来て下さり「中里ワークホームさんありがとうございました」という心のこもつた寄せ書きまでいただきました。こちらこそ大変助かりました。またいつでもいらっしゃってくださいね。いただいた寄せ書きは玄関前に掲示しています。ありがとうございました。